

2024年度シラバス

科目名:MH2213151 保育内容指導法「生活と人間関係」	担当者:吉田 真弓	開講学科等	保育科
		授業形態	演習
免許・資格:幼稚園教諭2種免許状、保育士資格		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須, 選択	選択

**授業概要と方法**  
**【担当者の実務経験】** 幼稚園教諭・保育士：現場では様々な年齢のクラス担任をし、遊びの実践や保育活動の実践を行った。その実践記録をもとにクラスの仲間関係（人間関係）の発展について考察を行い、日々の保育に取り組んだ。この授業は、3法令が示す「人間関係」の領域についての理解を深め、実践に向けての指導力を身に付けることを目的とする。ディプロマポリシーにもある、保育と子育てに対して理論的・実践的に考究する能力を身に付け、乳幼児期における人と関わる力の発達を理解するとともに、保育者の援助についての理解も深めていく。授業では、視聴覚教材や事例をもとにグループ討議を行い、他の人の意見を聞くことで様々な考え方ができるようにする。  
**【AL】**

**授業の到達目標**  
 ① 幼稚園教育要領・保育所保育指針の「人間関係」の領域に示されているねらいと内容について理解する。  
 ② 乳幼児期の人との関わりについて理解する。(DP)  
 ③ 人と関わる力を育むための保育方法を考えることができる。(DP)  
**【到達目標と深く関連する学科DP】**  
 ◎保育と保育者の本質に関わる知識・技能  
 ◎省察力・改善力

**授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)**  
 ・授業計画を見て、幼稚園教育要領解説・保育所保育指針解説の授業に関係する箇所を目を通しておく。  
 ・乳幼児期の発達について基本的なことを復習したり、事例を読み返して自分の考えをまとめたりしておく。  
 ・ボランティアなどを通して、乳幼児と関わる体験をするように心掛ける。

**評価方法**  
 授業への参加態度・ミニレポート・課題等 50%      テスト50%

<b>教科書</b> レジュメ等を配布	<b>参考図書</b> 幼稚園教育要領解説・保育所保育指針解説 認定こども園教育・保育要領
------------------------	--

**その他(学生へのアドバイス、連絡手段)**  
 授業に積極的に参加し、自分の考えを発表したり自分とは違った考えを取り入れたりしながら、保育者としての力量を身に付けてほしい。

01	オリエンテーション、領域「人間関係」について
02	共感、思いやり
03	道徳性の芽生えと規範意識
04	コミュニケーション能力
05	協同性の育ち
06	地域の人々との関わり
07	保護者と保育者の人間関係
08	まとめと確認テスト
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

## 2024年度シラバス

科目名:MH1211112 保育内容総論	担当者:吉田 真弓、鳶田 弘子	開講学科等	保育科
		授業形態	演習
免許・資格:幼稚園教諭2種免許状、保育士資格		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須, 選択	必須

### 授業概要と方法

【担当者の実務経験】幼稚園教諭・保育士：様々なクラス担任をし、子ども主体の保育について実践を通して検討していった。  
幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園における教育・保育の基本に基づいて、総合的に指導するという考え方を理解し、幼児の興味関心や発達の実情などに応じた具体的な指導の在り方を理解する。また、教育・保育内容を実践に即して総合的にとらえることができるように、DVD教材の活用、グループにおける話し合いや発表を取り入れ、具体的に学ぶ。担当者の実務経験を生かし、現場の様子も講義に反映し、具体的な理解を促す。【AL】

### 授業の到達目標

- ・乳幼児期の教育・保育においては、子どもの内面を理解することが一番の出発点であることを理解する。
- ・乳幼児から幼児期の終わりまでに育ってほしい姿をイメージし、総合的な指導の在り方や、保育者の役割を理解する。(DP)
- ・乳幼児の興味や関心、発達に応じた具体的な指導の在り方を、事例を通して理解する。(DP)

### 【到達目標と深く関連する学科DP】

◎保育と保育者の本質に関わる知識・技能

◎省察力・改善力

### 授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)

現代の幼児を取り巻く社会状況や問題などに関するニュース・新聞等における情報に関心を向け、自分の意見や考えをもつようにしよう。

### 評価方法

授業の振り返り・課題提出物40%、筆記試験60%、による総合評価

### 教科書

「子ども中心の実践に学ぶ 保育内容総論」(建帛社)、幼稚園教育要領解説、保育所保育指針解説

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)  
質問や連絡等、メールまたはteamsで受け付けます。

### 参考図書

幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説

01 オリエンテーション、保育内容総論で学ぶこと

02 保育内容の歴史の変遷

03 保育の構造と内容理解①

04 保育の構造と内容理解②

05 幼稚園・保育所・認定こども園の1日

06 育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

07 環境を通して行う保育

08 遊びを通しての総合的指導①

09 遊びを通しての総合的指導②

10 家庭や地域との連携

11 幼小連携・接続について考える

12 保育の多様な展開

13 劇遊び活動を考える

14 行事活動への総合的取り組み グループワーク

15 まとめと確認テスト

16 なし

2024年度シラバス

科目名:MH2212131 子どもと人間関係	担当者:吉田 真弓	開講学科等	保育科
		授業形態	演習
免許・資格:幼稚園教諭2種免許状、保育士資格		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須・選択	選択

**授業概要と方法**  
**【担当者の実務経験】** 幼稚園教諭・保育士：現場では様々な年齢のクラス担任をし、遊びの実践や保育活動の実践を行った。その実践記録をもとにクラスの仲間関係（人間関係）の発展について考察を行い、日々の保育に取り組んだ。この授業は、幼稚園教育要領・保育所保育指針が示す「人間関係」の領域についての理解を深め、実践に向けての指導力を身に付けることを目的とする。ディプロマポリシーにもある、保育と子育てに対して理論的・実践的に考究する能力を身に付け、乳幼児期の発達を理解するとともに、そこから広がる人間関係についての理解も深めていく。授業では、視聴覚教材や事例をもとにグループ討議を行い、他の人の意見を聞くことで様々な考え方ができるようにする。  
**【AL】**

- 授業の到達目標**
- ① 幼稚園教育要領・保育所保育指針の「人間関係」の領域に示されているねらいと内容を理解し、具体的事例を考察できるようになる。(DP)
  - ② 乳幼児期の発達について理解する。
  - ③ 乳幼児期の人間関係の広がりについて理解する。

**【到達目標と深く関連する学科DP】**  
 ◎保育と保育者の本質に関わる知識・技能

**授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)**  
 ・授業計画を見て、幼稚園教育要領解説・保育所保育指針解説の授業に関係する箇所に通しておく。  
 ・乳幼児期の発達について基本的なことを復習したり、事例を読み返して自分の考えをまとめたりしておく。  
 ・ボランティアなどを通して、乳幼児と関わる体験をするように心掛ける。

**評価方法**  
 授業への参加態度・ミニレポート・課題等 50%      テスト50%

教科書 レジュメ等を配布	参考図書 幼稚園教育要領解説 保育所保育指針解説 認定こども園教育・保育要領
-----------------	---

**その他(学生へのアドバイス、連絡手段)**  
 授業に積極的に参加し、自分の考えを発表したり自分とは違った考えを取り入れたりしながら、保育者としての力量を身に付けてほしい。

01	オリエンテーション、保育の基本と領域「人間関係」
02	子どもを取り巻く社会の状況
03	領域「人間関係」の「ねらい」と「内容」
04	乳幼児期の人との関わりの発達
05	遊びの中の友だちとの関わりー子どもの自立心ー
06	遊びの中の友だちとの関わりー子どもの自己主張と自己発揮ー
07	遊びの中の友だちとの関わりーいざこざ・トラブルでの成長ー
08	まとめと確認テスト
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2024年度シラバス

科目名:MH2143112 保育カリキュラム論	担当者: 寫田 弘子	開講学科等	保育科
		授業形態	講義
免許・資格: 幼稚園教諭2種免許状、保育士資格		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須, 選択	選択

<p>授業概要と方法</p> <p>【担当者の実務経験】 保育士</p> <p>この授業科目は、保育士の経験を踏まえ、保育者が子どものよりよい成長を願い、子どもとともに遊びや生活を創り出すことができる「計画に基づいた実践」について、その仕組みや考え方、作成の方法、省察の意義と方法について具体的に考える。全体的な計画や具体的な指導計画は、保育者の意図や目的のないままに行われることはない。実践経験をもとに保育者の子ども理解や保育観が計画実践に影響を及ぼすことを理解できるようにするとともに、計画作成を授業内で体験的に学べるようにする。【AL】</p>	
<p>授業の到達目標</p> <p>保育のカリキュラムとは何か理解する。教育・保育課程(全体的な計画)編成についての考え方や、編成に必要な関係法規、作成方法について具体的に知識を深める。編成にとって必要な子ども理解や子どもの育ちを支える環境等についても知識、理解を深められるようにする。</p>	
<p>【到達目標と深く関連する学科DP】</p> <p>◎保育と保育者の本質に関わる知識・技能</p> <p>◎省察力・改善力</p>	
<p>授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)</p> <p>保育に関する法規を理解し、教育要領や保育所保育指針等を読むようにすること。また、子どもを取り巻く環境の変化や、社会問題にも関心を持ち、新聞やニュース等、目を通すようにする。</p>	
<p>評価方法</p> <p>課題レポート50% 各授業での小レポート30% 授業の振り返り 20%</p>	
教科書	参考図書
教育・保育カリキュラム論 中央法規	幼稚園教育要領解説 保育所保育指針解説 幼保連携型認定こども園教育保育要領解説
<p>その他(学生へのアドバイス、連絡手段)</p> <p>子どもが主体的に遊ぶことができる環境づくり、計画づくりを考えましょう。</p>	

01	保育における計画の意義
02	日本におけるカリキュラムの基礎理論
03	子ども理解に基づく保育の循環
04	保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育保育要領の性格と位置づけ
05	幼稚園の教育課程の編成と基本原理と方法
06	保育所・認定こども園の全体的な計画の作成と基本原理と方法
07	幼稚園の指導計画の作成
08	保育所・認定こども園の指導計画の作成
09	保育の評価
	保育の評価
10	指導計画の書き方
11	0歳児の指導計画
12	1歳以上3歳未満児の指導計画
13	3歳児・4歳児の指導計画
14	5歳児の指導計画
15	小学校との接続
16	

## 2024年度シラバス

科目名:MH1211112 保育内容総論	担当者:吉田 真弓、鳶田 弘子	開講学科等	保育科
		授業形態	演習
免許・資格:幼稚園教諭2種免許状、保育士資格		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須, 選択	必須

### 授業概要と方法

【担当者の実務経験】幼稚園教諭・保育士：様々なクラス担任をし、子ども主体の保育について実践を通して検討していった。  
幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園における教育・保育の基本に基づいて、総合的に指導するという考え方を理解し、幼児の興味関心や発達の実情などに応じた具体的な指導の在り方を理解する。また、教育・保育内容を実践に即して総合的にとらえることができるように、DVD教材の活用、グループにおける話し合いや発表を取り入れ、具体的に学ぶ。担当者の実務経験を生かし、現場の様子も講義に反映し、具体的な理解を促す。【AL】

### 授業の到達目標

- ・乳幼児期の教育・保育においては、子どもの内面を理解することが一番の出発点であることを理解する。
- ・乳幼児から幼児期の終わりまでに育ってほしい姿をイメージし、総合的な指導の在り方や、保育者の役割を理解する。(DP)
- ・乳幼児の興味や関心、発達に応じた具体的な指導の在り方を、事例を通して理解する。(DP)

### 【到達目標と深く関連する学科DP】

◎保育と保育者の本質に関わる知識・技能

◎省察力・改善力

### 授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)

現代の幼児を取り巻く社会状況や問題などに関するニュース・新聞等における情報に関心を向け、自分の意見や考えをもつようにしよう。

### 評価方法

授業の振り返り・課題提出物40%、筆記試験60%、による総合評価

### 教科書

「子ども中心の実践に学ぶ 保育内容総論」(建帛社)、幼稚園教育要領解説、保育所保育指針解説

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)  
質問や連絡等、メールまたはteamsで受け付けます。

### 参考図書

幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説

01 オリエンテーション、保育内容総論で学ぶこと

02 保育内容の歴史の変遷

03 保育の構造と内容理解①

04 保育の構造と内容理解②

05 幼稚園・保育所・認定こども園の1日

06 育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

07 環境を通して行う保育

08 遊びを通しての総合的指導①

09 遊びを通しての総合的指導②

10 家庭や地域との連携

11 幼小連携・接続について考える

12 保育の多様な展開

13 劇遊び活動を考える

14 行事活動への総合的取り組み グループワーク

15 まとめと確認テスト

16 なし

2024年度シラバス

科目名:MH1231122 乳児保育 I	担当者: 寫田 弘子	開講学科等	保育科
		授業形態	講義
免許・資格: 保育士資格		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須・選択	選択

授業概要と方法

【担当者の実務経験】 保育士  
乳児及び1歳以上3歳未満児の姿を十分に認識し、乳児及び1歳以上3歳未満の子どもが有能な存在であることを理解する等、乳児保育の基本について考える。グループワークや事例検討などを行い、乳児保育に対する自分の考えをまとめながら、体験的に乳児保育の基本を学ぶ。【AL】

授業の到達目標

保育現場における乳児及び1歳から3歳未満児の保育に関する基本的事項や保育のねらいや内容について考え、保育を実際に展開できるような乳児保育における基本的な保育の力(理論習得、保育の実際の方法、教材の研究等)を身につける。また、乳児保育についての自分の価値観を持つことができるようにする。

【到達目標と深く関連する学科DP】

◎保育と保育者の本質に関わる知識・技能

◎省察力・改善力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)

乳児、1歳以上3歳未満児への関心を深めるために、図書館などで、乳児保育の最新情報を入手する。自分がどんな保育がしたいのか、考えるために身近なところでボランティアなど自主的に行うようにする。座学で学んだことは、必ず復習するようにして、最新の知識や技術を習得できるように努力する。

評価方法

課題レポート 50% 調べ学習のまとめや発表30% 授業の振り返り20%

教科書

実践につながる新しい乳児保育 ミネルヴァ書房

参考図書

保育所保育指針解説 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

授業の振り返り、小レポートは、毎授業に提出

01	イントロダクション 授業の進め方
02	乳児保育の意義と役割
03	乳幼児保育の歴史
04	日本における乳児保育の現状 乳児保育の基本 0歳児の子どもと保育
05	発達の連続的理解
06	乳児保育の基本
07	0歳児保育前半
08	0歳児保育後半
09	1歳児保育
10	2歳児保育
11	移行期の子どもへの関わり方と配慮
12	子どもの病気と健康・安全
13	特別な配慮を要する子どもの保育
14	乳児保育における計画と記録
15	保護者への子育て支援
16	なし

2024年度シラバス

科目名:MH2123132 障害児保育	担当者:山下 直樹、亀山 洋光	開講学科等	保育科
		授業形態	演習
免許・資格:幼稚園教諭2種免許状、保育士資格		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須, 選択	選択

<p>授業概要と方法</p> <p>【担当者の実務経験】 障がい児入所施設児童指導員</p> <p>本授業は、障がい児入所施設児童指導員の経験を活かし、より具体的事例を用いて授業を展開します。保育者として障がいのある子どもやその保護者と向き合いかに理解し支援していくことができるのか体験的に学びます。</p> <p>保育現場において、障がいを持つ子どもへの理解を深めるために、ここではまず障がいをどのように捉えるのかについて学びます。また、保育現場でよく出会う発達障がいを中心に障がいの特徴や保育現場でできる支援について事例や体験を多く取り入れながら学んでいきます。</p> <p>授業の到達目標</p> <p>この授業では、保育者として必要不可欠である、障がいを持つ子どもに対しての理解を深めることを目的とします。また、障がいを持つ子どもを取り巻く理念等の理解を深め、保育現場でできる配慮や環境設定の工夫などを演習を通して体験的に理解します。</p> <p>【到達目標と深く関連する学科DP】</p> <p>◎保育と保育者の本質に関わる知識・技能</p> <p>◎豊かな人間性・主体的行動力</p> <p>授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)</p> <p>障がいのある子どもの理解と支援は、授業だけでは学びきれませんから、夏休みなどの長期休暇中に施設や地域でのボランティアなど、積極的に子ども達と関わってください。</p> <p>評価方法</p> <p>授業への参加態度35% 毎時間のワークシート35% 確認テスト30%</p>	
<p>教科書</p> <p>小林徹・栗山宣夫「ライフステージを見通した障害児保育と特別支援教育」 株式会社 みらい</p> <p>その他(学生へのアドバイス、連絡手段)</p> <p>学修が進んでいくと「障がいとは?」「人間とは?」など、色々な「問い」が生じるかもしれません。学生時代にこうした「問い」を持つことは、将来みなさんが保育者になったとき、必ず心の支えとなると思います。</p>	<p>参考図書</p> <p>「幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領」</p>

01	障がい児保育とは～障がい児保育における「あたり前なこと」と「特別なこと」～
02	障がいの概念と障がい児保育の歴史の変遷
03	インクルーシブ保育と合理的配慮
04	肢体不自由児の理解と保育における発達の援助
05	知的障がい児の理解と保育における発達の援助
06	視覚障がい・聴覚障がい・言語障がい児などの理解と保育における発達の援助
07	自閉スペクトラム症 (ASD) 児の理解と保育における発達の援助① 理論的考察
08	自閉スペクトラム症 (ASD) 児の理解と保育における発達の援助② 事例から考える
09	注意欠如多動症 (ADHD) 児の理解と保育における発達の援助
10	重度心身障がい児・医療的ケア児の理解と保育における発達の援助
11	その他の特別な配慮を要する子どもへの理解と保育における発達の援助
12	個々の発達を促す生活や遊び
13	保護者や家族に対する理解
14	発達を目指した様々な連携
15	まとめと確認テスト
16	なし

2024年度シラバス

科目名:MH1122141 特別支援教育論	担当者:山下 直樹	開講学科等	保育科
		授業形態	演習
免許・資格:幼稚園教諭2種免許状、保育士資格		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須, 選択	選択

**授業概要と方法**  
**【担当者の実務経験】** 障がい児入所施設児童指導員 保育カウンセラー  
 本授業は、障がい児入所施設児童指導員の経験を活かし、より具体的事例を用いて授業を展開します。保育者として障がいのある子どもやその保護者と向き合いいかに理解し支援していくことができるのか体験的に学びます。  
 本講義では、特別支援教育とは何かを理解することから始め、障がい児（者）教育の歴史や制度、障がいの種類と程度に応じた教育の基本的特性について、さらに、障がいはないが特別の教育的ニーズのある子どもの教育について学んでいきます。また、保育学生として障がい児（者）との望ましいかかわりを考えられるようになることを目標とします。

- 授業の到達目標**
1. 障がいの概念について理解する。
  2. 各障がいの種類と程度に応じた教育支援の基本的特性について理解する。
  3. 障がい児（者）とかわる際の基本的態度を養う。
  4. 保育学生として障がいのある子どもへの受容的行動について考え、主体的な学習意欲を高められるようになる。

**【到達目標と深く関連する学科DP】**  
 ◎保育と保育者の本質に関わる知識・技能  
 ◎豊かな人間性・主体的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)  
 障がいを持つ子どもの理解と支援は、授業だけでは学びきれませんから、夏休みなどの長期休暇中に施設や地域でのボランティアなど、積極的に子ども達と関わってください。

**評価方法**  
 授業への参加態度35% 毎時間のワークシート35% 確認テスト30%

<b>教科書</b> 山下直樹『「気になる子」のわらべうた』 クレヨンハウス	<b>参考図書</b> 授業時に指示します
---	--------------------------

**その他(学生へのアドバイス、連絡手段)**  
 学修が進んでいくと「障がいとは?」「人間とは?」など、色々な「問い」が生じるかもしれません。学生時代にこうした「問い」を持つことは、将来みなさんが保育者になったとき、必ず心の支えとなると思います。

01	オリエンテーション/障がいとは何か?
02	特別支援教育の概要とその理解
03	日本におけるインクルーシブ教育システムの構築
04	発達障がいのある子どもへの理解と具体的支援①自閉スペクトラム症
05	発達障がいのある子どもへの理解と具体的方法②注意欠如多動症
06	発達障がいのある子どもへの理解と具体的方法③限局性学習症
07	保護者や家族に対する理 保護者や家族に対する理解
08	就学支援と小学校との連携
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2024年度シラバス

科目名:MH2223121 幼児教育相談	担当者:山下 直樹、岡本 加苗	開講学科等	保育科
		授業形態	演習
免許・資格:幼稚園教諭2種免許状、保育士資格		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須、選択	選択

授業概要と方法

【担当者の実務経験】保育カウンセラー スクールカウンセラー  
 「幼児教育相談」は、保育カウンセラー、スクールカウンセラーとしての経験を踏まえ、保護者の子育て支援をすることがテーマになります。  
 この授業では、教育者として必要となる教育相談の具体的な進め方やポイント、組織的な取り組みや連携の必要性を理解し、カウンセリングの基礎的な理論や具体的な方法を整理する。授業は、演習や事例を多く取り入れながら行います。学生自身で感じ、考えることで教育者として求められるカウンセリングマインドについて学びます。【AL】

授業の到達目標

「幼児教育相談」は、教育者として子どもの発達状況を理解し、子どもが好ましい人間関係を築き、集団の中での適応力を育みながら成長していくことを支援するのがテーマになります。また、支援に必要な基礎的知識を身につけるとともに、教育者としての自分自身を理解することを目標とします。この授業では、ロールプレイやグループワークなど、より実践に近い形でカウンセリングマインドを身につけます。

- 【到達目標と深く関連する学科DP】  
 ◎保育と保育者の本質に関わる知識・技能  
 ◎豊かな人間性・主体的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)  
 幼児教育の中でカウンセリングを生かすには、カウンセリングマインドの習得が欠かせません。授業で学んだことを基礎としながら、日常生活でも家族や友人と会話する際に、話された内容に積極的な関心を持ち、共感的に理解するよう実践することとします。

評価方法

授業への参加態度35% 毎時間のワークシート35% 確認テスト30%

教科書

「幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領」

参考図書

授業内で指示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

発達心理学や臨床心理学、カウンセリングについての本など読んでみると、さらに視野が広がると思います。

01	オリエンテーション／教育相談の意義と理論
02	教育相談の理論と方法
03	子ども理解とカウンセリングマインド①MSSM法による自己と他者理解
04	子ども理解とカウンセリングマインド②基礎的対人関係トレーニング
05	子ども理解とカウンセリングマインド③受容と共感のカウンセリング体験
06	子ども・保護者に対する教育相談とその具体的方法
07	特別な配慮を要する子どもの保護者への教育相談
08	まとめと確認テスト
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2024年度シラバス

科目名:MH2132131 乳児保育Ⅱ	担当者:鬼頭 弥生、吉田 房枝	開講学科等	保育科
		授業形態	演習
免許・資格:保育士資格		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須, 選択	選択

授業概要と方法

【担当者の実務経験】保育士・主任保育士(3歳未満児専門園)。育児相談も担っていた経験を生かし、連絡帳の意義や乳児の育ちを具体的に描けるようにする。  
この授業科目では、乳児についての基礎的な知識と乳児保育の実践の場で求められる保育技術を実践的に学ぶことができるようにする。【AL】  
この授業科目は、乳児保育Ⅰでの学びの理解を深める授業であり、乳児及び1歳以上3歳未満の子どもが有能な存在であることを理解する等、乳児保育の基本について考える。講義を聞くことに留まらず、調べ学習や討論などを行い、乳児保育に対する自分の考えやあり方をまとめ、乳児保育についての保育観を伝えることができるようにする。

授業の到達目標

保育現場における乳児及び1歳から3歳未満児の保育に関する基本的事項や保育のねらいや内容について考え、保育を実際に展開できるような乳児保育における基本的な保育の力(理論習得、保育の実際の方法、教材の研究等)を身につける。【DP】

- 【到達目標と深く関連する学科DP】  
◎保育と保育者の本質に関わる知識・技能  
◎省察力・改善力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)

乳児への関心を深めるために、図書館などで、乳児保育の最新情報を入手する。  
自分がどんな保育がしたいのか、考えるために身近なところでボランティアなど自主的に行うようにする。  
座学で学んだことは、必ず復習するようにして、最新の知識や技術を習得できるように努力する。

評価方法

授業・討議への参加態度・発表30% 提出物(授業内のワークシート含む)30% 確認テスト40%

教科書

実践につながる新しい乳児保育/大浦賢治編者(ミネルヴァ書房)

参考図書

保育所保育指針解説 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

事前準備が必要なことについてはmoodleまたは授業内で随時連絡をする。

01	イントロダクション 赤ちゃんにとって遊びとは
02	赤ちゃんが喜ぶ遊び(手作り玩具の作成)
03	赤ちゃんが喜ぶ遊び(手作り玩具の発表)
04	泣き止まない赤ちゃんの理解(DVD視聴) 乳児保育の基本 0歳児の子どもと保育
05	保護者と子どもの育ちを共有する連絡帳の捉え方・書き方の実践【AL】
06	環境の変化や移行に対する配慮
07	集団での生活における配慮
08	まとめ 確認テスト
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2024年度シラバス

科目名:MH2212141 子どもと環境	担当者:上原 隆司、鬼頭 弥生、朴 信永	開講学科等	保育科
		授業形態	演習
免許・資格:幼稚園教諭2種免許状、保育士資格		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須, 選択	選択

**授業概要と方法**  
この授業科目では、乳幼児期の子どもが保育所や幼稚園などの場で主体的に周囲の環境とかかわり育っていく過程と、保育者としての乳幼児の環境をとらえるための視点について具体的に学ぶことができるようにする。【AL】

乳幼児を取り巻く環境や乳幼児と環境とのかかわりについての現状や課題を踏まえ、領域「環境」のねらい及び内容についての理解を深める。

**授業の到達目標**

- ・子どもを取り巻く環境とその発達にとっての重要性を理解する【DP】
- ・遊びを通して子どもが身近な環境に興味・関心を持つ過程について理解する【DP】
- ・子どもと身近な環境との関わり方について理解する【DP】

**【到達目標と深く関連する学科DP】**

◎保育と保育者の本質に関わる知識・技能

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)

- ・実習で、乳幼児と周囲の環境との関係性を感性豊かな視点で観察すること
- ・実習で、保育室内や園庭の環境設定を丁寧にとらえ、再構成される理由や意味について質問したり考察したりすること

**評価方法**

授業・討議への参加態度 (30%) 提出物 (30%) 確認テスト (40%)

**教科書**

保育内容「環境」-基礎的事項の理解と指導法- (建帛社)

**参考図書**

保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

- |    |                             |
|----|-----------------------------|
| 01 | 子どもにとっての環境と環境による教育          |
| 02 | 乳幼児の発達と環境                   |
| 03 | 季節による生活や自然の変化               |
| 04 | 身近な生き物とのかかわり                |
| 05 | 土・砂・水等の自然、樹木・草花等の自然         |
| 06 | 数量や図形とのかかわり                 |
| 07 | 子どもと身近な物 物の性質や仕組み (遊びの実践活動) |
| 08 | まとめと確認テスト                   |
| 09 |                             |
| 10 |                             |
| 11 |                             |
| 12 |                             |
| 13 |                             |
| 14 |                             |
| 15 |                             |
| 16 |                             |

2024年度シラバス

科目名:MH2213161 保育内容指導法「生活と環境」	担当者:上原 隆司、鬼頭 弥生、朴 信永	開講学科等	保育科
		授業形態	演習
免許・資格:幼稚園教諭2種免許状、保育士資格		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須, 選択	選択

**授業概要と方法**  
この授業科目では、乳幼児期の子どもが保育所や幼稚園などの場で主体的に周囲の環境とかかわり育っていく過程と、保育者としての乳幼児の環境をとらえるための視点について具体的に学び、さらに指導案の作成に導く。【AL】

乳幼児の「環境」にかかわる具体的な場面を想定し、発達に応じた保育の構想、指導方法を身に付ける。

**授業の到達目標**

- ・幼稚園教育要領・保育所保育指針の基本を踏まえ、領域「環境」のねらい及び内容を理解し、就学後への見通しを持つ。【DP】
- ・環境に主体的にかかわる乳幼児の心情・認識・思考・行動を理解し、他の領域との関連性を理解したうえで保育場を構想し具体的に計画する。【DP】

**【到達目標と深く関連する学科DP】**

- ◎保育と保育者の本質に関わる知識・技能
- ◎省察力・改善力

**授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)**

- ・実習で、乳幼児と周囲の環境との関係性を感性豊かな視点で観察すること
- ・実習で、保育室内や園庭の環境設定を丁寧にとらえ、再構成される理由や意味について質問したり考察したりすること

**評価方法**

授業・討議への参加態度 (30%) 提出物 (30%) 確認テスト (40%)

**教科書**

保育内容「環境」-基礎的事項の理解と指導法- (建帛社)

**参考図書**

保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

01	領域「環境」のねらいと内容および評価
02	環境とのかかわりを支える保育者の役割
03	季節の植物を使った行事とあそび(指導方法の構想と指導計画の立案)
04	鬼ごっこを題材とした教材研究【AL】
05	教材研究報告会・鬼ごっこと園庭環境
06	文化と園内行事
07	持続可能性と身の回りの環境
08	まとめと確認テスト
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

## 2024年度シラバス

科目名:SH1141122 保育の理論と実践 I	担当者:吉田 真弓	開講学科等	専攻科保育専攻
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須, 選択	必須

### 授業概要と方法

【担当者の実務経験】幼稚園教諭、保育園保育士：様々な年齢のクラスを担当し、日々の保育の中では絵本の読み聞かせや紙芝居、人形劇、パネルシアター、エプロンシアター等の実演等における教材研究を行った。この授業では、幼稚園や保育園での現場経験を生かし、保育教材に関する基礎知識及びそれを生かした実践を学べるようにする。ディプロマポリシーにもある高度な専門知識と実践的なスキルを修得できるようにする。また、グループワークや発表等を通して保育者に必要な指導能力、表現力を身に付ける。【AL】

### 授業の到達目標

・保育と子育てに関する高度な専門知識と実践的技能の修得に関連し、保育実践において重要な子どもの文化である

様々な保育教材についての知識および理解を深める。(DP)

・発表等を通して豊かな表現力および実践力を身に付ける。

### 授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)

日頃から子どもの文化財に関心を持ち、触れるようにする。また、保育ボランティアや実習などで、積極的に保育教材を用いて実践を行い、教材の効果的な選び方や実践方法などを考察する。

### 評価方法

授業への参加態度 (20%) 課題提出・発表 (40%) レポート (40%)

### 教科書

レジュメ等を配布

### 参考図書

### その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

連絡や質問等はメールまたはteamsで受け付けます。

01	オリエンテーション
02	保育教材 I (パペット人形の保育への活用)
03	理論と実践① パペットの製作
04	理論と実践② グループ発表
05	保育教材 II (エプロンシアターの保育への活用)
06	理論と実践①エプロンシアターの製作 1
07	理論と実践②エプロンシアターの製作 2
08	理論と実践③エプロンシアターの製作 3
09	理論と実践④ グループ発表
10	理論と実践⑤ 全体発表
11	保育教材 III (手袋人形の効果的な活用)
12	理論と実践① 手袋人形の製作
13	理論と実践② 発表準備 (グループワーク)
14	理論と実践③ 全体発表
15	まとめとレポート
16	なし

2024年度シラバス

科目名:SH2111112 保育内容総論特演	担当者:吉田 真弓	開講学科等	専攻科保育専攻
		授業形態	演習
免許・資格:幼稚園教諭1種免許状・保育士資格		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須, 選択	必須

授業概要と方法

【担当者の実務経験】幼稚園教諭・保育士  
 3法の構造を理解し、子どもの発達を踏まえた保育内容を様々な角度から学ぶ。あわせて、園や家庭での教育及び地域における子育て支援などについても理解する。さらに、少子化の進行、子どもの生活や遊びの変容による保育のニーズの高まりや今日的課題を考えた保育のあり方についても仲間と共に調査・発表・報告する。【AL】

授業の到達目標

- ・保育の意義についての明確な認識をする。そのうえで、子ども観、発達観、保育観を形成していく。
- ・保育ニーズに応えた保育内容のあり方を理解し、保育実践や展開の仕方を学ぶ。
- ・子どもの発達を踏まえた保育の内容を理解して保育の計画を構想し、評価の方法や保育の役割について理解する。

【到達目標と深く関連する学科DP】

- ◎保育実践に基づく知識・技能
- ◎省察力・改善力
- 社会に貢献することができる協働性

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)

- ・授業計画を確認して授業に参加する。
- ・復習として、授業と関連する内容を調査し自己ノートを作成する。
- ・仲間と課題について調査した内容をまとめ報告書を作成する。

評価方法

授業への参加・学習態度・学びの振り返り30%、課題の提出30%、筆記試験40%にて評価する。

教科書

津金美智子・新井美保子編 新時代の保育双書『子どもの主体性を育む保育内容総論』 (株)みらい

参考図書

幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

- ・免許・資格を取る学生は、休まず履修する。
- ・連絡手段については、担当教員から伝える。]
- ・演習科目なので、グループや実践活動など現場理解を深める内容が多い事を意識して参加する。

01	オリエンテーション・授業の進め方・子育てを巡る動向と課題<グループディスカッション>
02	子どもを取り巻く社会環境の変化と保育内容(我が国の保育構造・社会環境・園環境)
03	幼児教育・保育の基本(環境を通して行う保育、育みたい資質・能力、10の姿の理解等)
04	遊びと保育内容(自発的な遊びと学び、保育内容と領域の関係)<グループディスカッション>
05	子ども理解①(乳児保育に関わる保育内容)
06	子ども理解②(1歳以上3歳未満児の保育内容)
07	子ども理解③(3歳以上児の保育内容)
08	子ども理解④(家庭・地域・小学校との連携)
09	子ども理解⑤(健康及び安全、子育て支援)
10	保育の計画①(教育課程・全体的な計画とカリキュラムマネジメント)
11	保育の計画②(指導計画と保育の展開)
12	保育の計画③(具体的な姿から実践へ)<グループディスカッション>
13	我が国における保育内容の変遷(戦前・戦後、現代の課題)
14	諸外国の保育内容(世界の幼児教育・保育の潮流、特色ある保育内容の調査)<グループ調査>
15	諸外国の保育内容<グループ調査内容の発表> ★授業全体まとめ
16	筆記試験

2024年度シラバス

科目名:SH1242112 乳児保育特論	担当者:鬼頭 弥生	開講学科等	専攻科保育専攻
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須・選択	選択

授業概要と方法

【担当者の実務経験】保育士・3歳未満児専門園の主任保育士。育児相談も担っていた経験を生かし、保護者理解や乳児を理解する視点が実践的に描けるようにする。  
この授業科目では、乳児保育を実際に運営するために必要な基礎的な知識と乳児保育の実践の場を作るための保育技術を実践的に学ぶことができるようにする【AL】

乳児保育の基本的理解を土台として、乳児保育の実践に必要な知識を深め、発達に沿った柔軟で具体的な保育内容を構成する力を養う。

授業の到達目標

- ・乳児の育ちを促す関わり方が実践的に理解できる。【DP】
- ・乳児保育に関する知識と保育実践経験の振り返りから、柔軟に思考する力や判断する力が身に付く。【DP】
- ・乳児に関する事件から子育て状況を把握し乳児にとっての最善の利益を考える力を養うことができる。【DP】

【到達目標と深く関連する学科DP】

◎保育実践に基づく知識・技能

○省察力・改善力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)

- ・乳児保育に関するニュースや記事等の情報に目を通すこと。
- ・グループ活動に必要な準備学修や資料の収集を行うこと。
- ・実習園や日常生活の中で3歳未満児の親子のやり取りや子ども同士のやり取りの場面を見つけ、事例として話題提供できるようにしておくこと。

評価方法

グループ活動への参加態度 (30%) 提出物・発表 (30%) レポート (40%)

教科書

適宜資料を配布する

参考図書

保育所保育指針解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説、実践につながる新しい乳児保育(ミネルヴァ書房)

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

事前準備が必要なことについてはmoodle、teamsまたは授業内で随時連絡をする。

01	イントロダクション 子どもの最善の利益とは
02	乳児保育における保護者支援を考える①(近年の3歳未満児対象の事件・話題の調査)
03	乳児保育における保護者支援を考える②(一通り概観したうえで各自取り上げたい事件を深く追求)
04	乳児保育における保護者支援を考える③(追求した事件をグループ内で発表)
05	乳児保育における保護者支援を考える④(相互発表を基にグループディスカッション)
06	乳児保育における保護者支援の意義とあり方を見出す
07	乳児が育つとはどういうことか
08	乳児保育の質に関する研究動向から保育プロセスの質について考える
09	保育プロセスと子どもの育ちとの関連について(グループワーク)
10	子どもの育ちとして最も大切にしたいテーマを取り上げ発表(グループワーク)
11	言葉の育ちに最も大事な0歳児期の関わり(共感と言葉)
12	対話の構造を体得する遊び
13	言葉を育む遊びの発表
14	保育の原点となる乳児保育
15	まとめ レポート
16	なし

2024年度シラバス

科目名:SH2211132 保育内容特演 (環境)	担当者:鬼頭 弥生	開講学科等	専攻科保育専攻
		授業形態	演習
免許・資格:幼稚園教諭1種免許状・保育士資格		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須, 選択	必須

授業概要と方法

【担当者の実務経験】保育士  
この授業科目では、幼稚園教諭の経験を活用しながら、現代の子どもを取り巻く環境や、乳幼児と環境との関わりについての専門的事項を学ぶ。幼稚園教育要領・保育所保育指針等に示された領域「環境」のねらい及び内容について理解を深め、保育の構想、指導方法を学ぶ。そして、環境との関わり、遊びの体験の中で子どもの認識や理解がどのように深まるかを学び、保育者がどのように指導をするのかを学ぶ。【AL】

授業の到達目標

DP 1・2・3に関連し、下記を到達目標とする。  
・幼稚園教育要領・保育所保育指針等の基本を踏まえ、領域「環境」のねらい及び内容を理解する。  
・乳幼児の認識についての学びを深め、環境に好奇心や探求心を持って主体的に関わり、それを生活に取り入れて関わられるように、「具体的な指導案を作成」し、「保育構想力を身に付ける」。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)

子どもの遊びに興味を持ち、自分の経験や子どもとの関わりの中で遊びの楽しさを味わってほしい。遊びをもっと楽しくする工夫やアレンジ力を身に付けてほしい。子どもの遊ぶ様子を観察して、どんな遊びをどんなふう楽しんでいるのか観察してほしい。自然とのかかわり、栽培などにも興味を持って取り組むことを勧める。

評価方法

ルーブリックの視点から、レポート30% 授業態度20%、定期テスト50%で総合的に評価する。課題のフィードバックは、個々にコメントを書くとともに、必要に応じて全体へも伝える。

教科書

無し

参考図書

幼稚園教育要領解説書・保育所保育指針解説書・幼保連携型認定こども園教育保育要領解説書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

質問等ある場合は、授業前後・オフィスアワーを使うか、私の部屋まで来てください。

01	オリエンテーション、実習の遊びのエピソードを考える
02	実習のエピソードを基に、保育所保育指針から環境について考える
03	保育ウェブについて
04	保育ウェブで計画を立てる(グループディスカッション)
05	自分の事例で保育マップを作成する
06	ある遊びの展開を子どもの活動・子どものつぶやき・環境構成で作成する
07	子ども主体の保育を保育園の例から考える
08	子どもの姿から保育の展開を考える(グループディスカッション)
09	物的環境-豊かな生活を育む環境をデザインする
10	子どもたちに、いろいろな〇〇を体験してもらいたい-そのための環境構成
11	行事・小学校や地域とのつながり
12	異文化理解と多文化共生をとりいれた環境構成
13	標識や文字・数量との関わりについて考える
14	情報機器との関わりについて考える
15	環境における現代的課題と保育
16	定期試験

2024年度シラバス

科目名:SH1051114 保育特別実習指導	担当者:小川 絢子、鳶田 弘子	開講学科等	専攻科保育専攻
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須、選択	必須

**授業概要と方法**  
**【担当者の実務経験】** 鳶田 弘子 (保育園長)  
 専攻科の実習は、有資格者としての自覚を持ち、より主体的に、実践的かつ専門的な課題をもって臨む必要がある。元園長の実務経験を踏まえて、保育の記録や省察の重要性を学生に保育の実例を取り上げながら教授し、学生が自己の実習記録などを基に課題を持ちながら、専門性を高めていけるような実習ができるようにする。実習において観察した子どもの姿や、記録を発表して集団で討論したり、事例検討などを通して、保育の専門性や力量を向上させていくようにする。常に自分の保育と向き合っ、省察して次に生かす姿勢を持つことができるようにする。【AL】

**授業の到達目標**  
 実習における実践的かつ専門的な課題に対して、主体的に取り組み、保育への対応力が持てるようにする。(DP)また、実習における記録などを基に、実践について発表し、討論などを通して、保育観を磨き保育者像を確立していくようにする。(DP)

**【到達目標と深く関連する学科DP】**  
 ◎保育実践に基づく知識・技能  
 ◎自己の客観的評価・課題解決に向けた行動力  
 ◎省察力・改善力  
 ◎社会に貢献することができる協働性

**授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)**  
 週2日間の実習を無駄にしないように、実習の実践記録などを整理し、その記録から課題や問題を見つけ出すなど、保育に向き合う姿勢を常に持っているように心がけること。実習で見つけた課題については、その解決策を積極的に探るようにすること。わからないときは、実習先の指導者に質問するなど、前向きに取り組むようにする。

**評価方法**  
 実践についての討論への参加の様子と発表 60% 授業中の課題・実習の振り返り 40%

教科書 特になし	参考図書 適宜紹介する
-------------	----------------

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)  
 保育科の実習ではないことを十分に理解して実習に取り組み、オリジナルな記録が残せるように工夫してください。

01	イントロダクション 授業目的・評価方法・実習計画書の作成
02	保育者・実習生としての基本的態度、子どもが主体となれる保育とは
03	子どもの発達理解① 3歳未満児
04	子どもの発達理解② 3歳以上児
05	保育特別実習における記録の説明
06	実習計画書を使用した意見交換/前期の行動指針を考える
07	実習に基づく意見交換① グループ・テーマ決め
08	実習に基づく意見交換② グループによる意見交換
09	実習に基づく意見交換③ グループによるエピソード検討
10	実習に基づく意見交換④ 発表準備
11	実習に基づく意見交換⑤ 発表
12	個別面談①/ 個別面談①/記録を使用した意見交換
13	個別面談②/記録のまとめ
14	専攻科2年生との交流
15	前期の行動指針の振り返り
16	前期のまとめ
17	記録のフィードバック、後期の行動指針を考える
18	改めてエピソード記述を学ぶ
19	子どもへの理解を深める① エピソード提出
20	子どもへの理解を深める② 生活に関するエピソードを使用した意見交換
21	子どもへの理解を深める③ あそびに関するエピソードを使用した意見交換
22	子どもへの理解を深める④ 3歳未満児のエピソードを使用した意見交換
23	子どもへの理解を深める⑤ 3歳以上児のエピソードを使用した意見交換
24	子どもへの理解を深める⑥ 発表準備
25	子どもへの理解を深める⑦ 発表
26	子どもへの理解を深める⑧ 発表の振り返り

## 2024年度シラバス

27	個別面談③／記録を使用した意見交換
28	個別面談④／記録のまとめ
29	後期の行動指針の振り返り
30	実習からの学びのまとめ
31	なし

2024年度シラバス

科目名:SH1052116 保育特別実習	担当者:小川 絢子、 眞田 弘子	開講学科等	専攻科保育専攻
		授業形態	実習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	6
		必須, 選択	必須

授業概要と方法

【担当者の実務経験】 眞田 弘子 (保育園長)  
 専攻科における実習は、すでに資格や免許を取得した立場で保育実践を深め、保育の実践力を身につけるために行う。元園長の実務経験を踏まえ、学生にその専門性を深く伝授するようにし、学生それぞれが個別に実習課題を立てて臨み、理論と実践の統合に向け、自主的かつ積極的に取り組むようにする。また、学位論文作成のためのフィールドワークとしても活用できるようにし、保育現場に出てからも保育実践研究が継続ができるようにする。

授業の到達目標

実習課題や実習において生じた問題と向き合い、積極的に指導を受けながら実践的に学びを深めるようにする。(DP) 長期の実習を通して、保育者の専門性を深め、保育に対する研究の目を養うようにする。(DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】

- ◎保育実践に基づく知識・技能
- ◎自己の客観的評価・課題解決に向けた行動力
- ◎省察力・改善力
- ◎社会に貢献することができる協働性

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)

事前に自身が実習を通して学びたいことを考え、子どもや保育者、保育内容や環境などを見取る視点を持って実習に臨むこと。実習の記録は、エピソード記述を中心として、子どもへの理解を深めることを目的として行う。また、自身の学びたいことや学位論文のテーマに合わせて記録の工夫を行うこと。  
 長期の実習を通して、子どもと継続的に関わるなかで、子どもへの理解を深め、子ども理解に基づき、保育者としてどのように関わるかを考え続けること。

評価方法

実習の記録 100%

教科書  
特になし

参考図書  
特になし

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)  
 自分の目的に沿って積極的に実習に取り組むこと。

01	自身の研究テーマ及び研究の目的に沿って自ら選んだ実習先で週2日間の実習を行い、子どもの姿や保育者の姿をよく観察して、自分が保育者になることを自覚しながら、実践的に実習する。子どもと積極的にかかわり、子ども理解を深めること、保育者の仕事内容や役割について理解し、自らも資格や免許を持っている立場で、様々な角度から保育を考えていけるようにする。また、仕事として保育を行うことについて、深く理解し、自分がどのような保育がしたいのか、保育観を磨き、一歩踏み込んだ子どもとのかかわりから、子どもへの理解も深めていく。
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	

2024年度シラバス

25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	

2024年度シラバス

科目名:ME11EDU03 教職・教育課程論	担当者:大塚 賢一	開講学科等	英語コミュニケーション学科
		授業形態	講義
免許・資格:中学校教諭2種免許状 外国語(英語)		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須・選択	選択

授業概要と方法

【担当者の実務経験】高等学校教諭  
 実際に公立高等学校の教諭であった経験を踏まえ、教職の意義、教員の資質や社会との繋がり、カリキュラム・マネジメントの重要性とその方法を学習する。

教科や部活動などの指導を通してこれまでにたくさんの「先生」と関わってきたことと思います。しかし、「先生」の本当の姿は意外に知られていません。この講義は、学校教育における「先生」の役割を理解し、「教職」の在り方を深めること、更に「教育課程」が持つ意味を理解するのが目標です。教職に就くまでのプロセスや現代の学校が抱える課題をどう解決すべきかといった実践面も学びます。【AL】

授業の到達目標

1. 日本における学校教育・教職の社会的意義を理解する「(DP)」
2. 現在の教育公務員の役割・資質能力を理解し、保護者や内外の専門家との関わり方を理解する「(DP)」
3. 教育公務員の身分・服務上の義務を理解する「(DP)」
4. 教育課程の意義・教育課程編成の方法(カリキュラム・マネジメント)を理解する「(DP)」

【到達目標と深く関連する学科DP】

◎他者との協働および実践のための問題発見・解決力・他者との協働性

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)

教育、特に学校教育に関連するニュースは、日常にあふれています。そうした事柄に常に敏感でいてください。また、「学ぶ者」から「教える者」へ意識を切り替えることも必要です。学校教育の諸問題を扱うニュースや新聞記事を見た際には、講義で学んだことを基に、自分が「教員」であればどう考えどう行動し、解決に導くかなどを常に考えるようにしましょう(4時間)。

評価方法

定期試験60%、リサーチペーパー15%、プレゼンテーション15%、授業への参加態度10%(授業において提示した課題(試験、レポート等)に対しては、個別にコメントしフィードバックします)

教科書

ワークシートを毎回配布します

参考図書

中学校学習指導要領、生徒指導要領

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

テレビや新聞などのニュースのうち、教育に関連する事項について常に敏感でいてください。質問や連絡は全てLINEで構いません。

01	教員の仕事と理想の教員像(自分の頭の中にある中学校教員の姿)
02	教育課程・カリキュラムと義務教育・教員の役割(なぜ人は学校に行くのかを学ぶ)
03	教育課程・カリキュラムと教員の責務・実態と「チーム学校」(チーム体制の構築の視点から見た教員の1日、1ヶ月、1年)
	教育課程・カリキュラムと教員の責務・実態と「チーム学校」(チーム体制の構築の視点から見た教員の1日、1ヶ月、1年)
04	映画とお世話になった先生へのインタビューから理想の教員像と実態を学ぶ(グループワーク)
05	映画とお世話になった先生へのインタビューから理想の教員像と実態を学ぶ(プレゼンテーション)
06	教員になるためには(教員免許状の種類、教職課程の意義、教員の職位・校務分掌を学ぶ)
07	教員のライフコースと教育公務員の服務規程(任用と職務上の義務)
08	教育公務員の服務規程(身分上の義務)
09	教育公務員の服務規程(身分保障と分限・懲戒)
10	教員採用試験「教職教養編」から学ぶ教員の役割・教育課程の変遷
11	教員採用試験「教職教養編」から学ぶ教育課程とカリキュラムデザイン
12	中学校の教育課程・カリキュラム(教科をまたいだカリキュラムデザインの重要性)
13	教科教育とカリキュラム・マネジメント(ある中学校の英語教育の実態から学ぶ)
14	教科教育とカリキュラム・マネジメント(R-PDCAサイクルの重要性)
15	教育課程・カリキュラム・「チーム学校」と中学校教育のまとめ
16	試験

2024年度シラバス

科目名:ME12EDU01 英語科教育法	担当者:大塚 賢一	開講学科等	英語コミュニケーション学科
		授業形態	講義
免許・資格:中学校教諭2種免許状 外国語(英語)		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須, 選択	選択

授業概要と方法

【担当者の実務経験】高等学校教諭  
 高等学校教諭であった経験を踏まえ、「小学校英語」→「中学校英語」→「高校英語」→「大学受験英語」「職場で必要とされる英語」などと連携していく「英語学習のあり方」を常に意識し、オーセンティックで実践的な教育方法を学ぶ。

前期に「外国語教育論」を履修していることが前提となります。この科目では、翌年の教育実習において、また更に将来教職に就いた際の基礎となる中学校英語の「授業方法」「評価方法」等をトレーニングしていきます。「外国語教育論」では英語教育理論を学習しますので、それらに基づいた学習指導案の作成、模擬授業を中心に講義は展開されます。学習者に英語を教えることは、高度な技術を必要とするだけでなく、教授者自身が高い英語力を有していることが求められます。本科目では授業時間の都合上授業方法等のトレーニングに多くを費やしますが、履修者は自らの英語力向上のために授業外における熱心な学習が強く求められます。【AL】

授業の到達目標

- 1 ユニットの指導計画が立てられる「(DP)」
2. 50分間の授業をスムーズに行える「(DP)」

【到達目標と深く関連する学科DP】

- ◎英語によるコミュニケーション力・他者との協働性
- ◎他者との協働および実践のための問題発見・解決力・他者との協働性

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)

模擬授業担当日の10日前までに学習指導案、板書計画、ワークシートを作成し、レッスンプランの相談会を行います。模擬授業後は振り返りシートを作成します。模擬授業で合格点が取得できない場合は補習を行います(補習は例年相当数行われます)。基本的に補習は履修者全員の参加を求めます。授業外に必要な学修時間は4時間以上です。

評価方法

模擬授業の完成度50%、模擬授業前の事前準備20%、授業参加態度30%(授業において提示した課題(試験、レポート等)に対しては、個別にコメントしフィードバックします)

教科書

NEW HORIZON 1, 2, 3年生用 中学校学習指導要領解説—外国語編—

参考図書

本多敏幸.(2011). 若手教師のためのよい授業をつくる30章. 教育出版等多数(書籍は全て研究室で貸し出します)

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

NHKの基礎英語1, 2, 3, ビジネス英会話等のラジオ番組を独自で聞くことを強くお勧めします。学習者の立場としてだけでなく、教授者の視点で各番組を視聴すると、模擬授業に役立ちます。質問や連絡は全てLINEで構いません。

01	講義：英語力の構成要素とは？(グループディスカッション)
02	講義：学習指導要領
03	講義：学習指導案の書き方
04	講義：読書レポート発表会(プレゼンテーション)
05	模擬授業①②と授業分析
06	模擬授業③④と授業分析
07	模擬授業⑤⑥と授業分析
08	模擬授業⑦⑧と授業分析
09	模擬授業⑨⑩と授業分析
10	模擬授業⑪⑫と授業分析
11	模擬授業⑬⑭と授業分析
12	模擬授業⑮⑯と授業分析
13	模擬授業⑰⑱と授業分析
14	講義：測定と評価方法 1
15	講義：測定と評価方法 2
16	なし

2024年度シラバス

科目名:ME23EDU12 教育実習（事前・事後指導）	担当者:大塚 賢一	開講学科等	英語コミュニケーション学科
		授業形態	講義
免許・資格:中学校教諭2種免許状 外国語（英語）		開講時期	前期・後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須, 選択	選択

授業概要と方法

【担当者の実務経験】高等学校教諭  
公立高等学校教諭時代に複数の教育実習生に対して直接的な指導に携わった経験を踏まえ、教育実習を成功させるための心構えや様々な準備、また、教育実習を通して得たことを深化させることで課題やその解決方法などを学んでいきます。

3週間の教育実習を軸に、下記の3つの到達目標を達成できるよう指導技術研究（模擬授業）、教育実習中の心得、実習のまとめと発表、介護等体験の意義と知識を有機的に学習します。

3週間の教育実習を軸に、下記の3つの到達目標を達成できるよう指導技術研究（模擬授業）、教育実習中の心得、実習のまとめと発表、介護等体験の意義と知識を有機的に学習します。【AL】

授業の到達目標

1. 英語科教育法で学んだ「教える技術」を更に発展させ、教育実習に備えること「(DP)」2. 教育実習を通して学んだことを深化させ、教員を目指す者としての資質を向上させること「(DP)」3. 介護等体験についての知識を深め、教員の役割を多角的にとらえられるようになること「(DP)」

【到達目標と深く関連する学科DP】

◎他者との協働および実践のための問題発見・解決力・他者との協働性

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修

毎日必ず新聞やインターネットで「学校教育」に関連する記事に目を通し、教育現場における諸問題に常に敏感でいられるよう心がけてください。また、実習先の子供たちに「夢」を与えられる存在になれるように、自己の内面を磨いてください(1時間)。授業において提示した課題(試験、レポート等)に対しては、個別にコメントしフィードバックします。

評価方法

実践報告プレゼンテーション60%、教育実習日誌30%、授業参加態度10%（フィードバックは、口頭およびLINE等を用いて行います）

教科書

中学校学習指導要領

参考図書

宮崎, 小泉(2015)『教育実習完璧ガイド』.小学館

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

教育実習前は、実習校との連絡を密に取り、実習に備えてください。

01	教育実習記録の使い方 1、教育実習の心構えとマナー 1
02	教育実習記録の使い方 2、教育実習の心構えとマナー 2
03	教育実習記録の使い方 3、教育実習の心構えとマナー 3
04	英語授業研究 1
05	英語授業研究 2
06	英語授業研究 3
07	教育実習（1週目）＊
08	教育実習（2週目）＊
09	教育実習（3週目）＊
10	教育実習で学んだことを深める 1
11	教育実習で学んだことを深める 2
12	教育実習で学んだことを深める 3、実習報告プレゼンテーション準備
13	教育実習報告プレゼンテーション（1年生教職履修学生向け）
14	社会福祉施設と介護等体験
15	特別支援学校と介護等体験
16	なし

2024年度シラバス

科目名:ME22EDU14 教職実践演習 (中学校)	担当者:大塚 賢一	開講学科等	英語コミュニケーション学科
		授業形態	講義
免許・資格:中学校教諭2種免許状 外国語 (英語)		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須, 選択	選択

<p>授業概要と方法  <b>【担当者の実務経験】</b> 高等学校教諭                  高等学校教諭であった経験を踏まえ、今の学校現場の実態を踏まえた「教員のあり方」を深めます。</p> <p>これまでの教職科目の総仕上げとして、多様化する日本の教育現場の実態を適切に把握し諸問題を深めることで、それらの解決方法を探りながら「教員としてのあるべき姿」を具体化させる。講義→調査→発表→記録 のサイクルで、学習を進めていく。ポートフォリオを作成し、学習を記録する。 <b>【AL】</b></p> <p>授業の到達目標                  教職科目の総仕上げとして、多様化する日本の教育現場の実態を適切に把握し諸問題を深めることで、それらの解決方法を探りながら「教員としてのあるべき姿」を具体化させることが目標である。また、受動的な活動と能動的な活動の組み合わせ (講義→調査→発表→記録) を体感することで、教授と学習の効果的な在り方を学ぶ「(DP)」。</p> <p><b>【到達目標と深く関連する学科DP】</b>                  ◎他者との協働および実践のための問題発見・解決力・他者との協働性</p> <p>授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修                  討論、レポート作成等は、適切な文献等を読んだ上での発言・記述が求められる。そのため、常に教育現場で起こっている事柄に敏感になり、それらに対して自らの意見を建設的に述べるトレーニングを怠らないで欲しい(4時間)。</p> <p>評価方法                  レポート等の課題70%、学習の記録20%、授業参加態度10% (授業において提示した課題(試験、レポート等)に対しては、個別にコメントしフィードバックする)</p> <p>教科書                  中学校学習指導要領</p> <p>参考図書</p> <p>その他(学生へのアドバイス、連絡手段)                  質問や連絡は全てLINEで構いません。</p>	
---	--

01	教育実習と介護等体験から学んだこととは？(学校教育の多様性について深める)
02	学校教育の在り方を考える：教員を取り巻く現状とは(本当にブラックなの？)
03	学校教育の在り方を考える：教員を取り巻く現状とは(教員に求められる資質・能力)
04	学校教育の在り方を考える：教員を取り巻く現状とは(新学習指導要領が目指す未来)
05	学校教育の在り方を考える：学業不振の生徒に対する対応
06	学校教育の在り方を考える：学級崩壊が起きたら(構成的エンカウンターの効果)
07	学校教育の在り方を考える：構成的エンカウンターの実践
08	教員を目指す後輩を通して見えること：学習指導要領と指導案
09	教員を目指す後輩を通して見えること：中学生の実態と指導案
10	教員を目指す後輩を通して見えること：中学校の実情と指導案
11	教員を目指す後輩を通して見えること：理想的な学習指導とは
12	教員を目指す後輩を通して見えること：教科書「で」何を教えるか
13	教員を目指す後輩を通して見えること：自分に足りないことと再点検
14	グローバル人材育成と学校の役割
15	教員を目指すにあたって：学習のまとめ
16	なし

2024年度シラバス

科目名:ME21LIN02 英語学II	担当者:福本 陽介	開講学科等	英語コミュニケーション学科
		授業形態	講義
免許・資格:中学校教諭2種免許状 外国語(英語)		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須, 選択	選択

授業概要と方法

【担当者の実務経験】中学校・高等学校教諭

教育現場では知識の単なる伝授のみにとどまらず、何らかの課題(観察対象)を提示し、何がどうなっているのかを学習者自身に考えさせる機会も必要である。このような学習は観察者(生徒)の理解を促す一助ともなりうる。本講義でもこれと同様の手法をできるだけ多く取り入れる。【AL】

人間は言語を用いて何らかの「意味」や「意図」を伝達し合っています。本講義では、英語学Iで学んだ知識を応用し、特に、人間同士がコミュニケーションを取り合うことにかかわる分野(語用論)、その元となる語や文の表す意味とは何か(意味論)、意味を適切に伝えるための構造としての文法(統語論)を中心的トピックとし、伝達方法・伝達される意味・伝達するための構造という、言語の意味と形式の対応について考察します。一方的に知識を伝達するのではなく、毎回様々な実例を課題として提示し、その課題に取り組み、解決していく演習形式の授業方針を採ります。

授業の到達目標

- ①語用論・意味論・統語論の射程範囲や考え方を理解する。(EDP3)
- ②意味と構造の対応関係を理解する。(EDP3)

【到達目標と深く関連する学科DP】

◎英語によるコミュニケーション力・他者との協働性

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)

事前学習:事前に配布した資料の予習・課題・確認テスト対策(2時間)

事後学習:講義内容の復習・課題・確認テストのふりかえり(2時間)

評価方法

授業参加態度30% 課題40% 確認テスト30%

講義中にフィードバックを行います。

教科書

資料配布予定

参考図書

適宜紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

英語学Iを受講しているかどうかは影響しないので、英語学IIで初めて英語学という分野に触れる人は安心してください。受講生の理解度などに応じて適宜進度を調整する場合があります。連絡手段は授業中に指示します。

01	ガイダンス
02	コミュニケーションはどうして成立するのか
03	Griceの協調の原則と会話の公理
04	Austinの発話行為論
05	まとめ・確認テスト(1)とフィードバック
06	ジョークの分析
07	メタファーとメトニミー
08	まとめ・確認テスト(2)とフィードバック
09	語や文の意味とはなにか(1)語の意味について
10	語や文の意味とはなにか(2)文の意味について
11	まとめ・確認テスト(3)とフィードバック
12	文の構造(1)語、句、節などの単位とその構造:生成文法理論の観点から
13	文の構造(2)定形節の構造
14	文の構造(3)複文の構造
15	まとめ・確認テスト(4)とフィードバック
16	なし

2024年度シラバス

科目名:ME21WRD07 国際関係論 I	担当者:塚本 江美	開講学科等	英語コミュニケーション学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須, 選択	選択

<p><b>授業概要と方法</b> この授業は、国際社会における政治的、経済的、社会的、文化的、軍事的問題の中から主だった事柄を取り上げ、世界のグローバル化の現状について学習する。【AL】 【担当者の実務経験】国際交流協会（公益財団法人）に16年勤務。</p> <p><b>授業の到達目標</b> ①国際関係の基礎知識の習得。②国際社会の一員としての自覚を持ち、地球規模の諸課題について考察・分析し、自分の意見を持てるようになる。(DP)</p> <p>【到達目標と深く関連する学科DP】 ◎社会で活躍できる思考力・判断力・表現力 ◎課題解決のための知識とそれに基づく問題発見・解決力</p> <p>授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修 授業前・後(2時間/週以上)：世界各国の情勢に関心を持ち、ニュースを聞く、新聞を読む(ネットニュース、ネット新聞でも可)。 授業後(2時間/回程度)：授業時に提示するディスカッショントピックに関する調査とレポート作成。 授業において提示した調査やレポートに対するフィードバックは提出後の授業の中で共有します。</p> <p><b>評価方法</b> 授業への参加態度(受講態度・意欲、授業内発言等含む) 30%、授業で実施する確認テスト・レポート70%</p>	
<p><b>教科書</b> 授業時に資料を配布</p>	<p><b>参考図書</b> ①佐渡友哲(編)、信夫隆司(編)、柑本英雄(編)『国際関係論&lt;第3版&gt;』(弘文堂、2018年) ②小田桐確(編)、長谷川晋(編)、岸野浩一(編)『ワークブック国際関係論：身近な視点から世界を学ぶ』(ナカニシヤ出版、2018年)</p>
<p>その他(学生へのアドバイス、連絡手段) オフィスアワーおよび連絡先は授業時に指示します。</p>	

01	イントロダクション：本授業の説明と課題の提示
02	国際関係論の基礎知識
03	歴史的視点 1：世界大戦と世界秩序
04	歴史的視点 2：米ソ冷戦からポスト冷戦へ
05	20世紀の国際関係
06	国際交流 1：姉妹都市について
07	国際交流 2：姉妹都市の事例に関するディスカッション
08	国際協力 1：外務省の取り組み
09	国際協力 2：フェアトレードについて
10	国際理解 1：「おいしいコーヒーの真実」に関するディスカッション
11	国際理解 2：国際理解教育の歴史とSDGs
12	グローバル化とは何か 1：「平和」へのアプローチについて
13	グローバル化とは何か 2：「グローバル・パラドックス」について
14	ドキュメンタリー映画「幸せの経済学 (The Economics of Happiness)」
15	授業のまとめ
16	なし

2024年度シラバス

科目名:ME22WRD07 国際関係論Ⅱ	担当者:塚本 江美	開講学科等	英語コミュニケーション学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須, 選択	選択

<p><b>授業概要と方法</b>          この授業は、国際社会における政治的、経済的、社会的、文化的、軍事的問題の中から主だった事柄を取り上げ、世界のグローバル化の現状について学習する。【AL】  <b>【担当者の実務経験】</b>国際交流協会（公益財団法人）に16年勤務。</p>	
<p><b>授業の到達目標</b>          ①国際関係の基礎知識の習得。②国際社会の一員としての自覚を持ち、地球規模の諸課題について考察・分析し、自分の意見を持てるようになる。(DP)</p> <p><b>【到達目標と深く関連する学科DP】</b>          ◎社会で活躍できる思考力・判断力・表現力          ◎課題解決のための知識とそれに基づく問題発見・解決力</p>	
<p>授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修          授業前・後(2時間/週以上)：世界各国の情勢に関心を持ち、ニュースを聞く、新聞を読む(ネットニュース、ネット新聞でも可)。          授業後(2時間/回程度)：授業時に提示するディスカッショントピックに関する調査とレポート作成。          授業において提示した調査やレポートに対するフィードバックは提出後の授業の中で共有します。</p>	
<p><b>評価方法</b>          授業への参加態度(受講態度・意欲、授業内発言等含む) 30%、授業で実施する確認テスト・レポート70%</p>	
<p><b>教科書</b>          授業時に資料を配布</p>	<p><b>参考図書</b>          ①佐渡友哲(編)、信夫隆司(編)、柑本英雄(編)『国際関係論&lt;第3版&gt;』(弘文堂、2018年)          ②小田桐確(編)、長谷川晋(編)、岸野浩一(編)『ワークブック国際関係論：身近な視点から世界を学ぶ』(ナカニシヤ出版、2018年)</p>
<p>その他(学生へのアドバイス、連絡手段)          オフィスアワーおよび連絡先は授業時に指示します。</p>	

01	イントロダクション：本授業の説明と課題の提示
02	基礎復習1：「権力」「政治」についてのディスカッション
03	基礎復習2：「リベラリズム」「リアリズム」についてのディスカッション
04	現代の社会問題1：現代の紛争をテーマに最新状況を知る
05	現代の社会問題2：現代の紛争からの教訓についてディスカッション
06	貧困・格差1：格差についての総論
07	貧困・格差2：絶対的貧困について
08	貧困・格差3：相対的貧困について
09	環境問題1：世界と日本の取組み
10	環境問題2：「ブルーゴールド」から学ぶ
11	環境問題3：「気候変動レジーム」について
12	難民1：世界の難民情勢について
13	難民2：日本での難民受入について
14	難民3：難民に関するワークショップ
15	授業のまとめ、レポート提出
16	なし

科目名:SE11LIN01 応用言語学	担当者:大塚 賢一	開講学科等	専攻科英語専攻
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須, 選択	選択

#### 授業概要と方法

【担当者の実務経験】 高等学校教諭

言葉と社会や文化との関係、バイリンガリズム、学習者要因、コミュニケーション能力、教授法、母語習得、第二言語習得などの切り口から、英語や言語に対する理解を深めます。

#### 授業の到達目標

1. 「英語」の現状と今後の展開を述べることができる2. 第二言語習得の仕組みを理解し、思い込みや俗説を理論的に批判することができる「(DP)」

#### 【到達目標と深く関連する学科DP】

○実践的かつ専門的な英語力

○国際社会において必要な教養とそれに基づいて他者を理解する能力

○高い英語力と国際社会への深い知識・問題発見・解決力・表現力・他者との協働性

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)

授業で学習したトピックについてのレポートやクイズを毎週行いますので、学習した事を復習して下さい(4時間)。授業において提示した課題(試験、レポート等)に対しては、個別にフィードバックします。

#### 評価方法

毎回のレポートやクイズが70%、プレゼンテーションが30%

#### 教科書

ワークシートを毎回配布します

#### 参考図書

特にありません

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

自分自身の英語学習の現状を常に考えながら、講義に参加してください。

01	応用言語学とは
02	社会階層と言語使用
03	スタイルとレジスター
04	世界における英語の特徴: 黒人英語
05	世界における英語の特徴: アジア (インド英語、マレーシア英語)
06	世界における英語の特徴: アジア (フィリピン英語、シンガポール英語)
07	世界における英語の特徴: World Englishes
08	学習者の特性: 臨界期
09	学習者の特性: 年齢
10	学習者の特性: 適性
11	学習者の特性: 性格
12	学習者の特性: 認知と学習スタイル
13	学習者の特性: 学習方略
14	論文から学ぶ最新の応用言語学
15	学習のまとめ
16	なし

科目名:SE13SMN00 英語研究法	担当者:専攻科教員全員	開講学科等	専攻科英語専攻
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	4
		必須, 選択	必須

<b>授業概要と方法</b> <b>【担当者の実務経験】</b> 大塚賢一（高等学校教諭） 英語学・言語学、英米文化、英語教育学、応用言語学、観光学など、各分野についてそれぞれ4回の授業を受けながら学ぶ。授業の方法、評価方法など、さらに詳しい内容については、それぞれの分野/担当の第1回目の授業において明示する。	
<b>授業の到達目標</b> 英語および関連する様々な分野の学びを通し、多角的な視点から「研究」を深めることができるようになる「(DP)」。  <b>【到達目標と深く関連する学科DP】</b> ○実践的かつ専門的な英語力 ◎国際社会において必要な教養とそれに基づいて他者を理解する能力 ◎高い英語力と国際社会への深い知識・問題発見・解決力・表現力・他者との協働性	
授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修 課題や参考図書を各授業担当者から指示するので、読書や文献調査の習慣をつけること（4時間以上）。授業において提示した課題(試験、レポート等)に対するフィードバックは、次回授業にて行います。	
<b>評価方法</b> 授業の参加態度、課題、小テスト等に基づき評価し、各授業者による評価をまとめ、総合的に判断する。評価の配分割合、さらに詳細はそれぞれの分野/担当の第1回目の授業において明示する。	
<b>教科書</b> 原則として使用しない。ただし、購入が必要なもの等は随時連絡する。	<b>参考図書</b>
その他(学生へのアドバイス、連絡手段)	

01	言語学 (1)
02	言語学 (2)
03	言語学 (3)
04	言語学 (4)
05	専攻科における研究 大西
06	研究に必要な文献の種類 大西
07	辞書と言語学 大西
08	Extensive Reading research クラーク
09	Story listening research クラーク
10	Vocabulary research クラーク
11	Views on language learning クラーク
12	地域の国際化 (1) 塚本
13	地域の国際化 (2) 塚本
14	地域の国際化 (3) 塚本
15	言語研究と哲学 福本
16	英語学と応用言語学 福本
17	グローバル化と英語教育 福本
18	多文化共生の中での英語 福本
19	観光英語検定と通訳案内士試験
20	英語による訪日観光案内1
21	英語による訪日観光案内2
22	発表
23	教育測定の基礎 大塚
24	実例から学ぶ教育測定 大塚
25	最新の論文から学ぶ教育測定 (1) 大塚
26	最新の論文から学ぶ教育測定 (2) 大塚
27	文学史 三輪
28	テキストへの取り組み 三輪
29	テキストの背景 三輪
30	テーマの絞り込みと文献検索 三輪
31	なし

## 2024年度シラバス

科目名:MG11F4L01 野外活動論	担当者:山下 玲香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須, 選択	選択

### 授業概要と方法

#### 【担当者の実務経験】高等学校教諭

この授業科目では、元高等学校教諭での経験を踏まえ、体育（野外教育）の知見から、野外における自然体験活動の基礎知識を教授していく。野外活動に関する知識を身につけるだけでなく、実際に道具を用いて扱ってみたり、野外活動計画を立ててみたりすることで知識を定着させる。課題の遂行や発表では、計画・準備を通して、仲間と協働して目標を達成していく。この授業はアクティブラーニング形式を取り入れ展開する。（AL）

### 授業の到達目標

- 1) 様々な角度から野外活動を捉え理解することができる…GDP 2◎
- 2) 学んだことを実践・表現することができる…GDP 3○
- 3) 仲間と協働して目標を達成できる…GDP 1, 4◎

#### 【到達目標と深く関連する学科DP】

- よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
- ◎幅広い分野にわたる専門知識
- ◎主体的・協働的行動力

#### 授業外に行うべき学修活動（準備学修・事後学修）

普段から野外活動に興味関心を持ち、文献や書物、テレビ、新聞などに目を通すこと…約1時間

### 評価方法

課題、ノート類40% 発表、ディスカッション50% まとめ10%

授業中の迷惑行為（私語、化粧、スマホや携帯電話等の無断使用、遅刻、無断退出等）を行った場合、平常点から減点する。フィードバックは翌週または15回目に実施する。

### 教科書

#### 参考図書

図書館にある野外関係の書籍を読むこと（キャンプ、ロープ、食事、毒の動植物、防災など）

### その他（学生へのアドバイス、連絡手段）

- ・レジメはTeamsで電子配信または紙面配布する
- ・動きやすい服装と靴で参加すること

- |    |                                 |
|----|---------------------------------|
| 01 | 野外活動の基礎・考え方                     |
| 02 | 野外活動の技術と指導①自然の歩き方過ごし方（テント、イスなど） |
| 03 | 野外活動の技術と指導②ロープワーク               |
| 04 | 野外活動の技術と指導③ネイチャーゲーム             |
| 05 | 野外活動の技術と指導④グループワーク（ネイチャーゲーム）    |
| 06 | 野外活動の技術と指導⑤発表                   |
| 07 | 野外活動のリスク 危険予知トレーニング             |
| 08 | 火おこしと薪割り                        |
| 09 | 応急処置と AED の基礎知識                 |
| 10 | 救急法実習 ※豊明消防署消防士の方の指導            |
| 11 | 野外炊飯の知識（調理方法や献立）                |
| 12 | 野外炊飯の実践（メスティン、コックヘル、スキレットなど）    |
| 13 | 野外活動の計画①グループワーク                 |
| 14 | 野外活動の計画②発表                      |
| 15 | 1～14回授業のまとめとフィードバック             |
| 16 | 試験なし                            |

2024年度シラバス

科目名:MG12F4L03 人間と健康	担当者:山下 玲香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須, 選択	選択

授業概要と方法

【担当者の実務経験】高等学校教諭  
 この授業科目では、元高等学校教諭での経験を踏まえ、保健の知見から、女性の健康問題やスポーツ活動などに関する講義を行う。  
 女性として強く、たくましく、しなやかに生きるために、自分のカラダの不思議や過去・未来の自分の健康を見つめることや、社会で生活するための知識として、現代社会の健康問題や障がいを持つ人への理解を深める。  
 この授業を受けることにより、公衆衛生学や学校保健学などの分野の知識を身につけ物事を考えていくことができる思考力と、課題解決に取り組むことができる行動力、様々な方法により他者に伝えようとするコミュニケーション力が身につく。  
 また、この授業はアクティブラーニング形式を取り入れ展開をしていく。(AL)

授業の到達目標

- 1) 現代病や女性特有の病気や、健康・スポーツなどについて理解を深める…GDP 1◎
- 2) 自分の健康や運動について興味関心を持ち、生涯の健康と運動の見通しを立てる…GDP 2○
- 3) 健康や運動について様々な視点から考える力を身につけ、他者に向けて発信することができる…GDP3○

【到達目標と深く関連する学科DP】

- ◎幅広い分野にわたる専門知識
- 幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)

- 1) 授業で出された課題についてしっかり取り組むこと。…週あたり最低30分
- 2) 興味関心のあるテーマについて、書籍やインターネットなどで調べること。…週あたり最低1時間

評価方法

- 1) まとめ30点、課題等70点(出席状況、課題、発表、授業への取り組み姿勢など)の100点満点で評価する。
- 2) 授業中の迷惑行為(私語、化粧、スマホや携帯電話等の無断使用、遅刻、無断退出等)を行った場合、平常点から減点する。
- 3) 課題等のフィードバックは翌週回または、15回目に口頭にて行う。

教科書

教員から随時指示する

参考図書

教員から随時指示する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

- 1) 授業には前向きな姿勢で臨んでください。課題やディスカッション、グループワークなど、積極的に取り組んでくれることを期待しています。
- 2) 授業中に配布した資料、ノート、メモなどは全て1つのファイルに綴るようにしてください。
- 3) パソコンを使う場合は事前に連絡をします。

01	「健康」を学ぶにあたって 自分の健康を見つめよう
02	発育発達と成長過程の疾病、生活習慣病
03	体力・運動能力について 体力低下が身体に与える影響
04	痩身と肥満 より健康なカラダ作りを目指して
05	疲労とストレス
06	月経とそれに関わる日常の困難
07	女性特有の疾患 妊娠と出産
08	グループ発表準備① 【SDG s を考える】
09	グループ発表準備② 【SDG s を考える】
10	グループ発表
11	高齢者の運動と健康
12	女性と運動 生涯スポーツ
13	女性と近代スポーツ 安全に運動を楽しむために
14	運動処方
15	1～14回までの授業のまとめとフィードバック
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG21F5L03 遊びと運動	担当者:山下 玲香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須, 選択	選択

授業概要と方法

担当者の実務経験】高等学校教諭

この授業科目では、元高等学校教諭での経験を踏まえ、体育の知見から、人間の体の使い方、あらゆる身体活動について広く講義を行う。また知識を身につけるだけでなく、自分の体をどのように使うのか実践を行い、発表に向けての計画・準備を通し、他者へ伝える発信力を養う。また、この授業はアクティブラーニング形式を取り入れ展開する。(AL)

ヒトが生きていく中で自然と行える動作も、もとをたどれば遊びから学んでいることが多い。また、幼い頃の遊びは、スポーツ活動や健康行動に発展する。講義の前半では、古くから脈々と受け継がれている遊び(伝承遊び)を中心にヒトの身体活動を学ぶ。中盤では社会におけるスポーツを多方面からアプローチし、様々なかかわり方を学ぶ。後半では余暇としての身体活動について広く学ぶ。全体を通して、遊びやスポーツなどの余暇の活動によって人生が豊かになることを知り、自分の身体活動の視野を広げることを目的とする。

この授業を受けることにより、身体活動全般の知識を身につけ物事を考えていくことができる思考力と、課題解決に取り組むことができる行動力、様々な方法により他者に伝えようとするコミュニケーション力が身につく。

授業の到達目標

- 1) 様々な角度から身体活動を捉え理解することができる…GDP 1◎
- 2) 考えたことを表現したり具現化して実践・表現することができる…GDP 2, 3○

【到達目標と深く関連する学科DP】

- よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
- ◎幅広い分野にわたる専門知識
- 主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修

・普段からスポーツや遊び(レジャーを含める)に興味関心を持ち、文献や書物、テレビ、新聞などに目を通す(週あたり1時間程度)

評価方法

授業の参加態度および発表 60% 制作物・提出物・ノート 40%

授業中の迷惑行為(私語、化粧、スマホや携帯電話等の無断使用、遅刻、無断退出等)を行った場合、平常点から減点する。

教科書

指定なし

参考図書

指定なし

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

- ・レジメはTeams上で配布しますので、PCを持参してください。
- ・体を動かしますので、動きやすい服装と靴で参加してください。

01	「遊び」とは ホモ・ルーデンス
02	子どもと遊び 伝承遊び(昔遊び)
03	伝承遊びの発展 身体活動としての遊びと発育発達
04	身近なもので作って遊ぶ(新聞:お手玉遊び)
05	身近なもので作って遊ぶ(折り紙:メンコ)
06	運動系伝承遊び:ゴム跳び
07	道具操作系伝承遊び:けん玉
08	道具操作系伝承遊び:駒
09	自然の中で行う伝承遊び:かくれんぼ、ドロケイ
10	生涯スポーツ/理想のジムを考えよう
11	理想のジムを発表しあう/競技スポーツ:スポーツをする・見る・支える
12	レクリエーションスポーツ
13	身近なもので作って遊ぶ:ニュースポーツやレクリエーションスポーツ①準備
14	身近なもので作って遊ぶ:ニュースポーツやレクリエーションスポーツ②発表
15	1~14回授業のまとめとフィードバック
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG22F5L04 人体の科学	担当者:山下 玲香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須, 選択	選択

授業概要と方法

【担当者の実務経験】高等学校教諭

この授業科目では、元高等学校教諭での経験を踏まえ、学校保健の知見から、生命科学を日常生活で活用するための具体的な方策を学ぶ。また女子教育において必要な知識を身につけるだけでなく、自ら課題を発見し、発表に向け計画・準備を行い、他者へ伝える発信力を養う。また、この授業はアクティブラーニング形式を取り入れ授業展開をする。(AL)

「いのち」とは、2つの生命の結合により発生するものであり、その連続が今日の自分にたどり着いた生命の歴史そのものである。ヒトが生まれて死ぬまでの人体の不思議や身の回りの生き物の生態など、生命科学の基礎を学び、理解を深める。

この授業を受けることにより、生理学的な分野の知識を身につけ物事を考えていくことができる思考力と、課題解決に取り組むことができる行動力、様々な方法により他者に伝えようとするコミュニケーション力が身につく。

授業の到達目標

- 1) ヒトが生まれて死ぬまでの人体の不思議や身の回りの生き物の生態など、生命科学の基礎を理解する。…GDP 1 ◎ GDP 2 ○
- 2) 授業のテーマについて自ら考え、意見を述べたりまとめたりする。…GDP 2、3 ○
- 3) ディスカッションや個人発表において、他者の意見や発言を聞き、協働して受講することができる。…GDP4○

【到達目標と深く関連する学科DP】

- ◎幅広い分野にわたる専門知識
- 幅広い知識と広い視野に基づく思考力
- 仲間と協働して目標達成する行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)

- 1) 興味のあるテーマについて、書籍やインターネットで調べる。(週に30分程度)
- 2) 提出された課題について、授業内で指定された方法で取り組む。(週に30分程度)

評価方法

- 1) まとめのテスト20点、課題60点(ノート、課題、発表など)、授業への意欲20点(ディスカッション、質問など)の合計100点満点で評価する。なお、紙面のまとめや課題は翌週に口頭で、Teams上のデータの場合はコメントの記載でフィードバックをする。
- 2) 授業中の迷惑行為(私語、化粧、スマホや携帯電話等の無断使用、遅刻、無断退出等)を行った場合は授業への意欲点に反映する。

教科書

教員から随時指示する

参考図書

教員から随時指示する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

- 1) 授業には前向きな姿勢で取り組むことを期待しています。課題には真摯に打ち込み、グループワークは積極的に発言してください。
- 2) PCでレジメを配布しますが、紙面の場合もあります。

01	いのちの多様性
02	ヒトのからだの不思議
03	ヒトのからだの構造と内分泌系
04	血液・心臓について 知る、考える/個人発表テーマ決め
05	個人発表準備
06	骨・筋肉について 知る、考える
07	個人発表
08	脂肪について 知る、考える
09	グループディスカッション
10	内臓について① 知る、考える
11	内臓について② /菌(細菌、常在菌)について 知る、考える
12	ウイルスについて 知る、考える
13	ヒトと疾病の歴史について 知る、考える
14	感染症について 知る、考える
15	1~14回の授業まとめのテストおよびフィードバック
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG21F2L04 SNSとコミュニケーション	担当者:高谷 邦彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須・選択	選択

**授業概要と方法**  
 情報のデジタル化が進んで急激に変化している現代社会に適応するために、特にウェブで起きている技術やサービスの変化、そしてスマートフォンとSNSの普及から生じたコミュニケーションの変化に注目しながら解説します。一方的な講義ではなく、受講生が授業中に感じた疑問や意見に対してTeamsのチャット機能を使ってリアルタイムにフィードバックをしながら対話的に進めます。

**【担当者の実務経験】**  
 NPO法人の代表者として、北海道宗谷地方の観光情報を発信するウェブサイト（SNS）を15年間にわたって運営管理していた。

**授業の到達目標**  
 SNSを中心としてウェブのさまざまなサービスを利用する際に必要となるリテラシー（知識や経験、マナー、常識など）を身につける。SNSの歴史を学ぶことで、より幅広い視野に立って現在のSNSを理解することができるようになる（DP）。

- 【到達目標と深く関連する学科DP】**
- よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
  - 幅広い分野にわたる専門知識
  - ◎幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動（準備学修・事後学修）  
 ふだんSNSを利用して感じたことや疑問等について、授業の際に質問できるように整理しておくこと（毎回90分程度）。講義の中で紹介するインターネットのいろいろなサービスについては、興味があれば自分でも試してみるようにしてください（毎回90分程度）。

**評価方法**  
 各回のミニレポートの提出状況30%、確認テスト70%。  
 フィードバックはTeamsで行います。

<b>教科書</b> なし（必要に応じて参考サイト等を指示します）	<b>参考図書</b> 授業中に指示します
--------------------------------------	--------------------------

**その他（学生へのアドバイス、連絡手段）**  
 ウェブの最新動向（新しいサービスの登場やSNSに関する事件やニュースなど）によって、講義の内容が変わることがあります。  
 各種連絡および確認テストのフィードバック等はTeamsを通じて行います。ミニレポートに書かれた質問に対しては翌回の授業冒頭で解説を行います。  
 資料はTeamsで共有しますので、授業にはPCを持参してください。

01	オリエンテーション ～ 情報社会とは何か
02	今ウェブで何が起きているのか
03	メディアとは何か ～ 電話というメディア
04	もうテレビはいらない？ ～ マス・メディア時代の終わり
05	SNSとは何なのか ～ 承認欲求がすべて？
06	ウェブのコミュニケーション ～ AIとコミュニケーションは可能か
07	X（旧Twitter）の多様性
08	初音ミクの正体
09	YouTubeが変えたもの ～ 動画によるクチコミ
10	YouTuberたちの世界
11	ニコニコ動画のコミュニケーション ～ SNSと時間について考える
12	マイノリティとSNS
13	SNS事件簿 ～ ウェブで身を守るために
14	災害とSNS
15	確認テストと全体のまとめ
16	試験なし